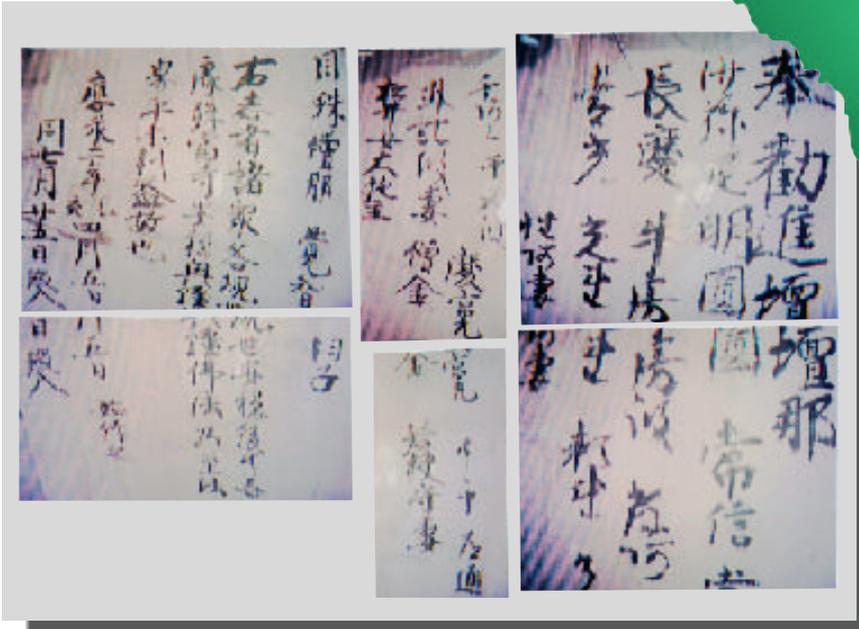


未来への遺産

VOL.60

あらわれた 仁王像の由来



畔形の内部に書かれた文字。右上に檀那とあるのは、像を作るのに費用を担った人で、明円、常信、長慶らの名が読める。また、左には應永2年(1395)とあり、4月5日に作り始め、同年の7月25日に納入したと書かれている。

邪気の進入を「阿吽の呼吸」で守る仁王像2体が真楽寺にある。向って右側が阿形、左側が吽形である。仁王像その別名を金剛力士像と呼ぶこの彫刻は、室町時代に製作されたという。

近年、その仁王像の調査をおこなったところ、確かに体内にその製作の経過が記されていた。書かれていたのは、ふたつの仁王の首の内側である。

阿形には、この金剛力士像が真楽寺の別当禅寂によって計画され、上州世多良の仏師 刑部公鏡鋸に よって彫刻されたされたとあり、この造立の費用を負担した檀那として、一結講の白田十郎 野沢七郎、追分講の佐久次郎などの名が書かれている。

吽形には、その造立の趣旨として、諸衆の現世安穩・後生善処、真楽寺の安穩、仏法の興隆、法界の平等利益などの願いが記され、この像が応永2年(1395年)の4月5日に作り始め、同年の7月25日に殿入したと記されている。

約4ヶ月弱という短い期間で、この仁王尊は完成したことがわかった。



仁王像 阿形

さかいひろこ縄文漫画展 “空想考古学-土偶ブギ★ウギ”

■4月8日(日)まで お見のがしなく! ■浅間縄文ミュージアム 企画展示室 入場無料

御代田町の人口(3月1日現在)

●人口 14,205人(先月比-4) 男 7,124人女 7,081人
●世帯数 5,473世帯(先月比+6) ●外国人登録者数 723人

みやた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111



みやた広報やまゆりは、資源保護と環境保全のため、古紙配合率100%再生紙と大豆油インキを使用しています。